令和８年度厚生労働省委託事業

介護現場の生産性向上に向けた介護テクノロジー等の開発・実証・普及調査広報事業

（都道府県支援事業・リビングラボ事業）

令和８年度　介護事業所向け

生産性向上・テクノロジー導入活用状況等に関するアンケート調査

調査内容一覧（配布用見本）

【構成】

Ⅰ．基本情報

Ⅱ．テクノロジー導入・活用状況

Ⅲ．生産性向上の取組状況

Ⅳ．加算の算定状況

Ⅴ．介護生産性向上総合相談センターの認知・活用状況

【回答形式の記号について】

○：単一選択（いずれか１つ）　□：複数選択（当てはまるものすべて）　＿＿＿＿：自由記述・数値記入

【本紙について】

調査項目の一覧を掲載していますので、ご参照ください。

なお、本紙は調査票ではありません。

Ⅰ．基本情報

問 1　事業所所在地（都道府県･市区町村）をご回答ください。 【単一選択＋自由記述】

都道府県：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　市区町村：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

問 2　法人種別をご回答ください。 【単一選択】

- ○ 地方公共団体
- ○ 日本赤十字社･社会保険関連団体･独立行政法人
- ○ 社会福祉法人（社協以外）
- ○ 社会福祉協議会
- ○ 医療法人
- ○ 社団･財団法人
- ○ 生活協同組合
- ○ 農業協同組合
- ○ 営利会社
- ○ 特定非営利活動法人
- ○ その他

その他の具体的内容：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

問 3　ご回答いただく事業所のサービス種別をご回答ください。 【単一選択】

- ○ 訪問介護
- ○ 訪問入浴介護
- ○ 訪問看護（介護保険）
- ○ 訪問リハビリテーション
- ○ 通所介護
- ○ 通所リハビリテーション
- ○ 短期入所生活介護
- ○ 短期入所療養介護
- ○ 特定施設入居者生活介護
- ○ 福祉用具貸与･販売
- ○ 居宅療養管理指導
- ○ 定期巡回･随時対応型訪問介護看護
- ○ 夜間対応型訪問介護
- ○ 地域密着型通所介護
- ○ 認知症対応型通所介護
- ○ 小規模多機能型居宅介護
- ○ 認知症対応型共同生活介護
- ○ 地域密着型特定施設入居者生活介護
- ○ 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護
- ○ 看護小規模多機能型居宅介護
- ○ 介護老人福祉施設
- ○ 介護老人保健施設
- ○ 介護医療院
- ○ 居宅介護支援
- ○ 養護老人ホーム
- ○ 軽費老人ホーム（ケアハウス、A、B）

問４　10 桁の事業所指定番号をご回答ください。 【数値記入】

事業所指定番号：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

問５　貴事業所と併設、同一敷地内又は隣接する敷地において提供されているサービスのうち、貴事業所が属する法人が提供しているサービスをご回答ください。 【複数選択】

- ☐ 1.訪問介護
- ☐ 2.訪問入浴介護
- ☐ 3.訪問看護（介護保険）
- ☐ 4.訪問リハビリテーション
- ☐ 5.通所介護
- ☐ 6.通所リハビリテーション
- ☐ 7.短期入所生活介護
- ☐ 8.短期入所療養介護
- ☐ 9.特定施設入居者生活介護
- ☐ 10.福祉用具貸与・販売
- ☐ 11.居宅療養管理指導
- ☐ 12.定期巡回・随時対応型訪問介護看護
- ☐ 13.夜間対応型訪問介護
- ☐ 14.地域密着型通所介護
- ☐ 15.認知症対応型通所介護
- ☐ 16.小規模多機能型居宅介護
- ☐ 17.認知症対応型共同生活介護
- ☐ 18.地域密着型特定施設入居者生活介護
- ☐ 19.地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護
- ☐ 20.看護小規模多機能型居宅介護
- ☐ 21.介護老人福祉施設
- ☐ 22.介護老人保健施設
- ☐ 23.介護医療院
- ☐ 24.居宅介護支援
- ☐ 25.病院（歯科を除く）
- ☐ 26.病院（歯科）
- ☐ 27.診療所（歯科を除く）
- ☐ 28.診療所（歯科）
- ☐ 29.薬局（院外）
- ☐ 30.訪問看護（医療保険）
- ☐ 31.都道府県栄養士会が運営する栄養ケア・ステーション
- ☐ 32.サービス付き高齢者向け住宅
- ☐ 33.有料老人ホーム（サービス付き高齢者向け住宅は除く）
- ☐ 34.養護老人ホーム
- ☐ 35.軽費老人ホーム（ケアハウス、A、B）
- ☐ 36.集合住宅（31～34 除く）
- ☐ 37.地域包括支援センター（在宅介護支援センター）
- ☐ 38.総合事業（訪問型サービス A）
- ☐ 39.総合事業（訪問型サービス C）
- ☐ 40.総合事業（訪問型サービス D）
- ☐ 41.総合事業（通所型サービス A）
- ☐ 42.総合事業（通所型サービス C）
- ☐ 43.総合事業（その他の生活支援サービス）
- ☐ 44.提供しているサービスはない　（単独選択）

問６　貴事業所の常勤換算職員数をご回答ください。 【数値記入】

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　人

問７　回答時点において貴事業所がサービス提供可能な最大定員数（訪問系の場合は利用者総数）をご回答ください。 【数値記入】

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 人

Ⅱ．テクノロジー導入・活用状況

問 1　介護テクノロジー（9 分野 16 項目および記録システム、インカム等の ICT 機器）の導入状況をご回答ください。 【複数選択】

- ☐ 移乗支援（装着）
- ☐ 移乗支援（非装着）
- ☐ 移動支援（屋外）
- ☐ 移動支援（屋内）
- ☐ 移動支援（装着）
- ☐ 排泄支援（排泄物処理）
- ☐ 排泄支援（動作支援）
- ☐ 排泄支援（排泄予測・検知）
- ☐ 入浴支援
- ☐ 見守り（施設）
- ☐ 見守り（在宅）
- ☐ コミュニケーション
- ☐ 介護業務支援システム　※記録・情報共有ソフトを含む
- ☐ 機能訓練支援
- ☐ 食事・栄養管理支援
- ☐ 認知症生活支援・認知症ケア支援
- ☐ 記録システム
- ☐ インカム
- ☐ その他

その他の具体的内容：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

☐ 該当する機器はない　（単独選択）

問 2　導入により特に生産性が向上した介護テクノロジーをご回答ください。 【複数選択】

※問 *1* で「該当する機器はない」以外を選択した場合のみ回答

- ☐ 移乗支援（装着）
- ☐ 移乗支援（非装着）
- ☐ 移動支援（屋外）
- ☐ 移動支援（屋内）
- ☐ 移動支援（装着）
- ☐ 排泄支援（排泄物処理）
- ☐ 排泄支援（動作支援）
- ☐ 排泄支援（排泄予測・検知）
- ☐ 入浴支援
- ☐ 見守り（施設）
- ☐ 見守り（在宅）
- ☐ コミュニケーション
- ☐ 介護業務支援システム　※記録・情報共有ソフトを含む
- ☐ 機能訓練支援
- ☐ 食事・栄養管理支援
- ☐ 認知症生活支援・認知症ケア支援
- ☐ 記録システム
- ☐ インカム
- ☐ その他

その他の具体的内容：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

☐ 該当する機器はない　（単独選択）

問３　導入したものの活用できていない介護テクノロジーをご回答ください。　【複数選択】

※問 1 で「該当する機器はない」以外を選択した場合のみ回答

- ☐ 移乗支援（装着）
- ☐ 移乗支援（非装着）
- ☐ 移動支援（屋外）
- ☐ 移動支援（屋内）
- ☐ 移動支援（装着）
- ☐ 排泄支援（排泄物処理）
- ☐ 排泄支援（動作支援）
- ☐ 排泄支援（排泄予測・検知）
- ☐ 入浴支援
- ☐ 見守り（施設）
- ☐ 見守り（在宅）
- ☐ コミュニケーション
- ☐ 介護業務支援システム　※記録・情報共有ソフトを含む
- ☐ 機能訓練支援
- ☐ 食事・栄養管理支援
- ☐ 認知症生活支援・認知症ケア支援
- ☐ 記録システム
- ☐ インカム
- ☐ その他

その他の具体的内容：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

- ☐ 該当する機器はない　（単独選択）

問４　介護テクノロジーの導入により期待した効果をご回答ください。　【複数選択】

※問 1 で「該当する機器はない」以外を選択した場合のみ回答

- ☐ 業務時間の削減・業務効率の向上（例：記録時間の短縮、移動・連絡の効率化等）
- ☐ 職員の身体的負担の軽減（例：移乗支援、見守り負担の軽減等）
- ☐ 職員の心理的負担・ストレスの軽減（例：不安の軽減、夜間対応の安心感向上等）
- ☐ ケアの質の向上（例：見守りの充実、ケアの均質化等）
- ☐ 人員配置の最適化・人手不足への対応（例：少人数運営の実現等）
- ☐ 情報共有・連携の円滑化（例：記録の即時共有、多職種連携の強化等）
- ☐ 離職防止・職員の定着率向上
- ☐ その他

その他の具体的内容：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

問５　介護テクノロジーの導入により得られた効果をご回答ください。　【複数選択】

※問 *1* で「該当する機器はない」以外を選択した場合のみ回答

- ☐ 業務時間の削減・業務効率の向上（例：記録時間の短縮、移動・連絡の効率化等）
- ☐ 職員の身体的負担の軽減（例：移乗支援、見守り負担の軽減等）
- ☐ 職員の心理的負担・ストレスの軽減（例：不安の軽減、夜間対応の安心感向上等）
- ☐ ケアの質の向上（例：見守りの充実、ケアの均質化等）
- ☐ 人員配置の最適化・人手不足への対応（例：少人数運営の実現等）
- ☐ 情報共有・連携の円滑化（例：記録の即時共有、多職種連携の強化等）
- ☐ 離職防止・職員の定着率向上
- ☐ その他

その他の具体的内容：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

Ⅲ．生産性向上の取組状況

※本項目における「生産性向上」とは、テクノロジー活用に限らず広く現場の業務改善のために行う取組を含むものとします。

問 1　これまでに実施した、及び現在実施している生産性向上の取組をご回答ください。 【複数選択】

- □ 職場環境の整備（例：５S 活動（整理・整頓・清掃・清潔・しつけ）の実施等）
- □ 業務全体の流れの再構築（例：業務棚卸しの実施、動線の見直し、役割分担の再設計等）
- □ テクノロジーの導入・活用（例：介護ソフト、見守り機器、インカム等の導入・活用等）
- □ 手順書の作成（例：業務マニュアルの整備、標準手順の明確化等）
- □ 記録・報告様式の工夫（例：記録様式の簡素化、チェックリスト化、ICT 記録への移行等）
- □ 情報共有の工夫（例：申し送り方法の見直し、ICT によるリアルタイム共有等）
- □ OJT の仕組みづくり（例：指導担当者の配置、育成計画の策定、教育手順の標準化等）
- □ 理念・行動指針の徹底（例：理念の共有、職員間での目標設定、行動基準の明確化等）
- □ その他

その他の具体的内容：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

- □ いずれも実施していない （単独選択）

問 2　生産性向上の取組の継続年数をご回答ください。 【単一選択】

※問 *1* で「いずれも実施していない」以外を選択した場合のみ回答

- ○ １年未満
- ○ １年以上２年未満
- ○ ２年以上３年未満
- ○ ３年以上４年未満
- ○ ４年以上５年未満
- ○ ５年以上

問３　生産性向上の取組を効果的に進めるために必要だと思うもの（取組の促進要因）をご回答ください。 【複数選択】

- □ 取組を主導する人材・体制
- □ 取組を進めるための人手・時間の余裕
- □ 取組の進め方・ノウハウがわかるマニュアルやガイドライン
- □ 取組の進め方や課題を共に考えられる他事業所とのネットワーク
- □ 取組の進め方や課題を相談できる相談機関
- □ 取組の効果・メリットを体感できる研修会や見学会
- □ 取組の効果・メリットがわかる先行事例等の情報
- □ ICT・設備投資のコストに係る補助
- □ その他

その他の具体的内容：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

□ わからない （単独選択）

問４　生産性向上委員会の設置有無をご回答ください。 【単一選択】

○ 設置あり　　○ 設置なし

Ⅳ．加算の算定状況

上記Ｉ問３(回答者の事業所サービス)で、下記いずれかのサービス（生産性向上推進体制加算の対象サービス）を選択した方に伺います。

・短期入所生活介護　・短期入所療養介護　・特定施設入居者生活介護　・小規模多機能型居宅介護

・認知症対応型共同生活介護　・地域密着型特定施設入居者生活介護

・地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護　・看護小規模多機能型居宅介護

・介護老人福祉施設　・介護老人保健施設　・介護医療院

問１　生産性向上推進体制加算の取得状況をご回答ください。　【単一選択】

○ 生産性向上推進体制加算（Ⅰ）を取得している　○ 生産性向上推進体制加算（Ⅱ）を取得している

○ いずれも取得していない

問２　加算を取得していない理由をご回答ください。　【複数選択＋自由記述】

※問 *1* で「いずれも取得していない」を選択した場合のみ回答

□ 制度内容や算定要件が分かりにくい・理解不足　□ 加算取得に関する情報・支援が不足している

□ 手続きや体制整備の負担が大きい　□ 人員・時間などのリソースが不足している

□ ICT・設備の導入が進んでいない／コスト負担が大きい　□ メリットを感じない／他の加算より優先度が低い

□ 利用者・家族への影響が懸念される

□ その他

その他の具体的内容：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

□ 特に理由はない／検討したことがない　（単独選択）

Ⅴ．介護生産性向上総合相談センターの認知・活用状況

問１　介護生産性向上総合相談センターの認知・活用についてご回答ください。　【単一選択】

○ 知っており、活用したことがある
○ 知っているが、活用したことはない
○ 知らない

問２　どのような内容について相談したかご回答ください。　【複数選択＋自由記述】

※問 *1* で「知っており、活用したことがある」を選択した場合のみ回答

☐ 財務・投資・収益について
☐ 人材確保・育成・定着について
☐ キャリアパス・評価体系について
☐ 生産性向上・DX について
☐ 体制整備について
☐ 設備・地域について
☐ 組織文化について
☐ 事業継承について
☐ その他

その他の具体的内容：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

問３　生産性向上・DX について、どのような内容を相談しましたか。　【複数選択】

※問 *2* で「生産性向上・*DX* について」を選択した場合のみ回答

☐ テクノロジー導入補助金に関する相談
☐ その他の補助金・基金に関する相談
☐ 生産性向上推進体制加算に関する相談
☐ 生産性向上委員会の設置に関する相談
☐ 自事業所の生産性向上・改善活動の進め方に関する相談（課題の見える化、実行計画、振り返り等）
☐ 介護テクノロジーの種類・機能や機器選定に関する相談
☐ 介護テクノロジーの導入方法・導入準備に関する相談
☐ 導入した介護テクノロジーの活用・定着に関する相談
☐ その他

その他の具体的内容：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

問４　介護生産性向上総合相談センターへの相談によって期待した効果が得られたかご回答ください。
【単一選択】

※問 *1* で「知っており、活用したことがある」を選択した場合のみ回答

○ 得られた
○ やや得られた
○ あまり得られなかった
○ 得られなかった
○ わからない

問５　介護生産性向上総合相談センターの活用意向をご回答ください。　【単一選択】

○ 利用したい
○ 機会があれば利用したい
○ より情報が充実すれば利用したい
○ 利用したくない
○ わからない

問６　介護生産性向上総合相談センターに期待する機能をご回答ください。　【複数選択】

□ 課題に合った専門家の紹介
□ 課題に合った介護テクノロジーの紹介
□ 初歩的な相談への回答
□ 成功事例・先進事例の情報提供
□ セミナー・研修会の開催
□ 補助金・公的支援制度の情報提供
□ テクノロジーの試用貸出
□ その他

その他の具体的内容：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

□ 特にない・わからない　（単独選択）

設問は以上です。